1150 25TH ST. SAN FRANCISCO, CA 94107 tel: 415.576.9300 / fax: 415.373.4471 www.altmansiegel.com

Ecocolo Magazine, No. 47, March 2010



少し遅く起きた冬の朝、ふとんにくるまっている。 ちょっとまぶしくて、でも目の前はぼんやりしていて、 類をかすめる風は冷たいけれど、体はあたたかい。 もう夢の世界には戻れないけれど、外には出られない。 画家・クサナギシンペイさんが描くのは、そんな世界。 夢とうつつ、彼岸と此岸にまたがる「間」の世界のような……。 ここではないどこかへ行けるかは、自分次第です。

写真:江原隆司 文:上條桂子



1150 25TH ST. SAN FRANCISCO, CA 94107 tel: 415.576.9300 / fax: 415.373.4471 www.altmansiegel.com



もしれない。言葉というものは少々扱いづらい存在なのか 信している人に対して、言葉 絵という表現方法で何かを発 言葉は難しいですね。言葉に むけるわけでもなく、無視す そう答えてくれた。確かに、 ているので」 必要はないんだけど、目をそ は、いつも正面から向き合う 現れ、絵の中がだんだんとに るわけでもなくという……。 から引っ張ってきているもの 意味を彼に尋ねてみた。 えは [towing voyage]。 ゃら ぎやかになっていく。 したくないと思って絵を描い る』という意味。自分の過去 「『tow』は『引っ張る、曳航す 少し困った表情を浮かべて 今回行われた個展のタイト

そう答えてくれた。確かに、 経という表現方法で何かを発 信している人に対して、言葉 は少々扱いづらい存在なのか もしれない。言葉というもの は、難しい概念を端的に表現 できる代わりに、あやうい共 通認識によって意味が限定さ

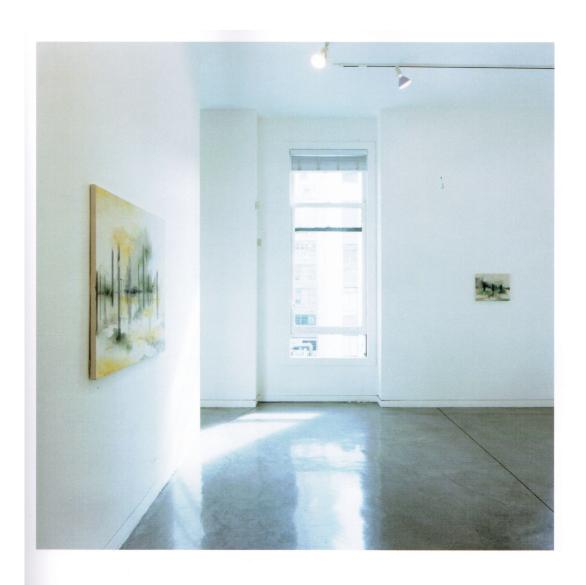
広がる風景を目の前にして、く似合う。うすらぼんやりと

景は、雨かんむりの文字がよサナギシンペイさんが描く風

霞、靄、霧……。画家・ク

と、小さなかけらがちらほらつ視界の解像度を上げていくまずは呆然。そして、少しず

1150 25TH ST. SAN FRANCISCO, CA 94107 tel: 415.576.9300 / fax: 415.373.4471 www.altmansiegel.com



絵を通して何か自分のメッセ

そうではなくて、絵の前に立 ージを発信したいかというと ような仕掛けをしています。 ある『見えない何か』が起こる 人によって違うと思うのです

が、そういった絵と人の間に

を置くかでふわっと世界が開

ーがあります。絵と向き合っ

けたり、グッと内面に寄った た時に、その人がどこに視点

り。もちろん何が起きるかは

中にいっぱいあって。すごく けれども、確実に今そこに在 いなと ことに興味があって。目に見 みたいなものとか。そういう わかりやすく言うと場の空気 るものって、意外とこの世の ることができない何か。 中にある景色、普段は目で見 なく、過去の思い出や記憶の そこに映るのは、自分が反転 を省みる「鏡」のような存在。 のではなく、絵を通して自分 喚起するスイッチになればい えないけれど確かに在るもの した姿と背後にある世界では った人の中にある『気づき』を 「形がなくて目には見えない モチーフの意味をひもとく

あるからだ。

すべて平面作品である。 モチーフと、何層ものレイヤ 「キャンバスにはたくさんの 今回展示された作品は11点

1150 25TH ST. SAN FRANCISCO, CA 94107 tel: 415.576.9300 / fax: 415.373.4471 www.altmansiegel.com

